

とうきょう すぐわくプログラム活動報告書

園名	みずほひじり保育園
活動日時	令和 6 年 10 月 16 日 (月)
クラス名(年齢)	ぞう組(5歳児)

1. 活動テーマ

<テーマ>

インセクトハウス作り・3

<テーマの設定理由>

前回の続きより、ハウスの中にどんな生き物が住んでいるかを発見したいという子どもたちの思いから、ハウスを解体し観察する

2. 活動スケジュール

設置したインセクトハウスをグループごとに解体をし、どのような虫が住んでくれたかを見る。また、他のグループにいた虫を確認し、場所によって住んだ虫の違いなどに気づく。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

インセクトハウス×4 箱

白い紙(カレンダーの裏紙)×4枚、ミラーレスカメラ

4. 探究活動の実践

<活動内容>

設置したインセクトハウスを白い紙の上で解体する。虫などの生き物が住んでいるかを確認する。また他のグループの様子を見ながら、設置場所での変化に気づく。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

- ① 設置場所から広い場所に持ってきて、中身を確認後白い紙の上で箱をひっくり返し、中身を出す。「何が出てくるかな?」「虫入っているかな?」と興味深々の子どもたち。



- ② ヤステ、ムカデ、ミミズ、ダンゴムシ、アリ、クモ、イモリ(ヤモリ)が出てきてその都度「でてきたよ!」「見つけたよ!」と歓声があがつた。



- ③ アリがアイスの棒、ストローの中に砂を持ち込み巣のように卵を産み付けていたのを発見。「土に戻してあげた方がいいよ」と言いながら棒からはがし、土に戻してあげた。



- ④



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

虫の家を解体することを楽しみにしていて、喜んで紙の上に出す。しかし生き物が出て来るとキヤーキヤー大騒ぎになり騒がしくなってしまったが、「虫が驚くよ!」という子がいたことで幾分静かに行うことが出来た。設置場所での違いは特になかったが、アリの巣が出来ていたことにどの子も驚いたようで、白いものは卵なのではないかと話が出て観察をする。縦にくっついているとの発見があり、このままではかわいそうだということで棒からそぎ落とし、土の中に埋めるなど子ども達から話が出たことは生き物のことを考えた発言と嬉しく感じた。